

里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	地域活性化
手法名	里地里山のコミュニケーションデザイン
主体	特定非営利活動法人エコプラス
背景(地域の課題)	<p>里地里山の地域づくりでは、中山間地域の存在意義や重要性を、地域住民をはじめ活動にかかわる各主体が、共に認識しあい捉え直すことができるかどうか活動推進のために重要である。</p> <p>そのため、外部からの参加者やNPO等市民団体が集落とともに取り組みを進めるにあたって、相互のコミュニケーションを図り深めることができるかどうか活動が円滑に進めていく上で大切な要素となっている。</p>
手法／方策の詳細	<p>NPO法人エコプラスでは、里地里山保全活動の各段階において地元と外部者のコミュニケーションを深めることで取り組みの展開を図っている。</p> <p>(1) 地域調査の実施 活動を行う最初の段階として、暮らしている地域の基礎的な情報収集と状況を調査していく。調査は中山間地域の人々と外部参加者がともに行っていく(図1)。地元住民が外部参加者と調べることは、住民自身の地域の見つめ直しを促進する効果を持っており、地域の持ち味を生かした活動づくりに有効である(図2)。</p> <p>(2) 地域資源等の掘り起こしを通じた地域の再評価 調査によって、希少種の発見や地域独自の伝統文化などの掘り起こしが促進される。これらの地域資源等の再発見を通じて地域の独自性や潜在的 가능성이浮き彫りになり、地域の再評価につながっている。</p> <p>(3) 調査成果を利用したプログラムや活動づくり 地域調査の成果を活かして、保全活動を立ち上げたり、地域の知恵や技術を体験的に学ぶプログラム等を実施する(図3)。</p> <p>(4) 外部参加者と共に作り上げることで活動の持続的発展を促進 保全活動や関連する体験活動を地元住民だけでなく、外部者も共に交流しながら行うことによって、マンネリ化を防ぎ新たな展開を継続的にもたらすことができる。また、取り組み自体が地域の交流人口の拡大につながり、このことは、保全活動に携わる人手の確保につながるだけでなく、交流を活かしたガイドプログラムや新たな産物の生産販売等の地域の生業づくりへ発展する可能性も持っている(図4)</p>
手法・技術的視点	<p>(1) 連携・協働者として外部参加者を位置づける視点 中山間地域で行われる里地里山保全活動や関連する体験活動等に、かかわる外部参加者をお客さんとして受け入れるのではなく、里地里山活動(集落作り)を共に進めていく仲間(協働者)として捉えなおす視点が重要。 これにより従来ありがちであった外部者受け入れに伴う集落の過剰な負担感を軽減し、直に地域課題をテーマにした活動に住民・外部者双方が向き合うための意識形成を促している。</p> <p>(2) 地元－外部者の交流による活動の継続的な展開プロセス 活動のすべての段階で地元と外部者の交流を図り意見交換を活発に行っていることで、地元住民と外部参加者が足並みをそろえながら取り組みが継続的に展開をするという効果を生んでいる。</p>

<p>実行プロセス・運営体制のイメージ</p>	<p style="text-align: center;">集落課題を契機とした取り組みの展開</p>  <pre> graph LR A[課題の浮上 (中山間地域の過疎化少子化)] --> B[調査活動 (暮らしの身近を調査・外部者の視点)] B --> C[地域特性の把握 (希少種、知恵や技術)] C --> D[地域を生かす活動 (保全、体験、学びのプログラム)] D --> E[活性化策の実施 (交流や新たなサービス作り、商品ブランド化)] E --> B </pre> <p style="text-align: center;">中山間地域の集落を主体とした連携協働体制</p>  <pre> graph TD A((連携主体 外部参加者)) --- B((中心主体 清水・栃窪集落)) C((協力主体 専門家)) --- B D((協働主体 NPO法人 エコプラス「TAPPO」)) --- B E((支援主体 企業及び外部 助成団体)) --- B </pre>
<p>図・写真資料</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>図1</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>図2</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>図3</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>図4</p>  <p style="text-align: center;">のべ300人、田んぼ50枚 半分以上が県外から うち4割が過去参加者</p> </div> </div>
<p>参考資料</p>	<p>里なびin新潟パワーポイント資料(高野孝子氏) 特定非営利活動法人エコプラスウェブサイトhttp://www.ecoplus.jp/top.php?lang=ja</p>